

Outshining
Light

第115期 中間レポート

2019年4月1日～2019年9月30日



STANLEY

スタンレー電気株式会社
STANLEY ELECTRIC CO., LTD.

証券コード: 6923

スタンレーグループビジョン



スタンレーは、世界中のスタンレーグループで共有する基本的な価値観として、
「スタンレーグループビジョン」を掲げています。

私たちは、このビジョンのもとで、「光の価値」と「ものづくり」を徹底的に究め、真に必要なとされる価値を創造することで、広く社会に貢献します。

A 自動車機器事業

ヘッドランプ(LED・HID・ハロゲン)
リアコンビネーションランプ
ターンシグナルランプ
フォグランプ
自動車用バルブ(LED・電球)
他

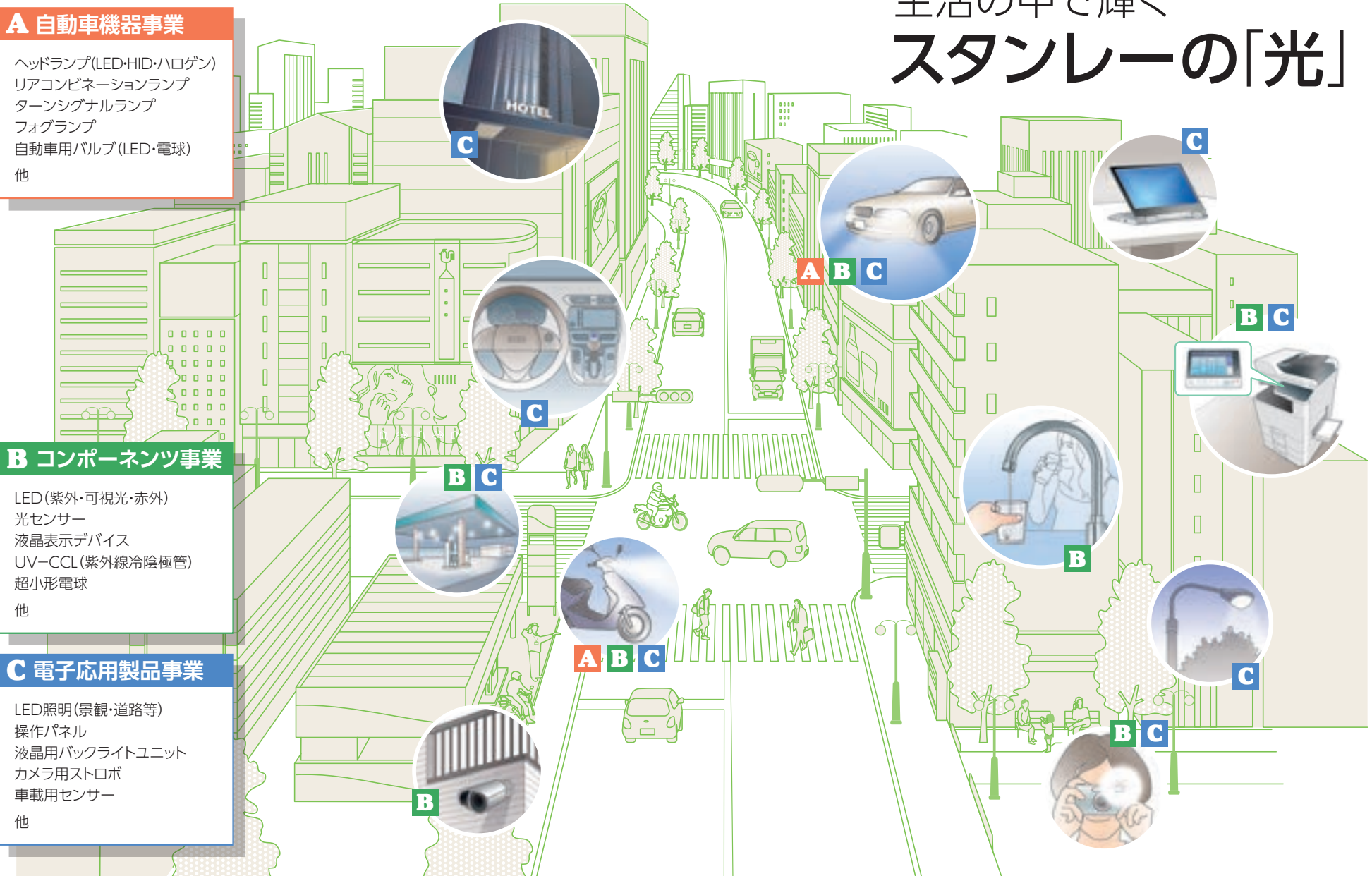
B コンポーネンツ事業

LED(紫外・可視光・赤外)
光センサー
液晶表示デバイス
UV-CCL(紫外線冷陰極管)
超小形電球
他

C 電子応用製品事業

LED照明(景観・道路等)
操作パネル
液晶用バックライトユニット
カメラ用ストロボ
車載用センサー
他

生活の中で輝く
スタンレーの「光」





株主の皆さまには、平素は格別のご高配を賜り、
厚く御礼申し上げます。

さて、当社は2019年9月30日をもちまして
第115期の第2四半期決算を行いましたので、
ここにご報告を申し上げます。

代表取締役社長

北野隆典

全般的な営業の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、
輸出を中心に弱さが続いているものの、緩やかに回復
しました。

世界経済は、米国では景気の回復が続き、欧州では
緩やかに回復しているものの一部に弱い動きがみら
れ、アジア、中国では緩やかに減速しました。

以上のような事業環境のもと、当社グループの売上
高は、自動車生産台数の世界的な減少、及び主に中国
元の為替の影響により、減収となりました。また営業利
益は、売上高の減少に加えて、過去の品質問題に関わ
る費用の影響により、減益となりました。

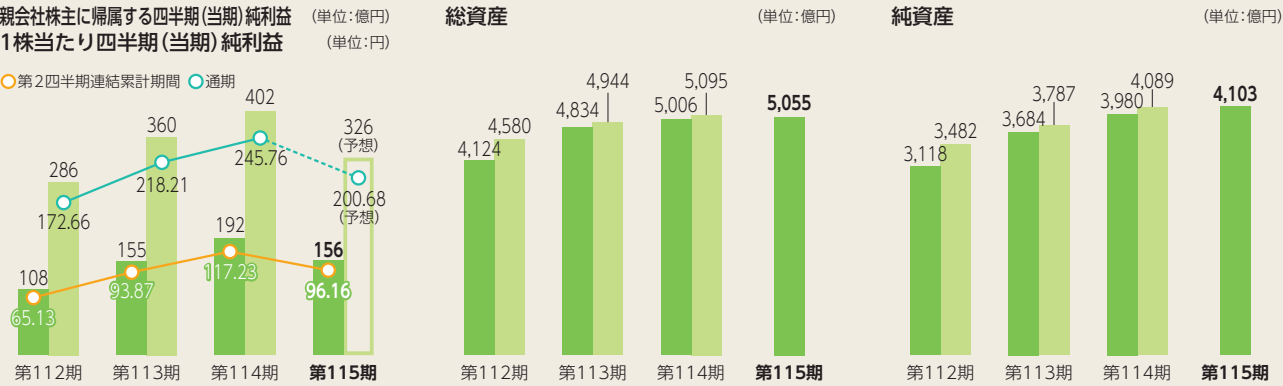
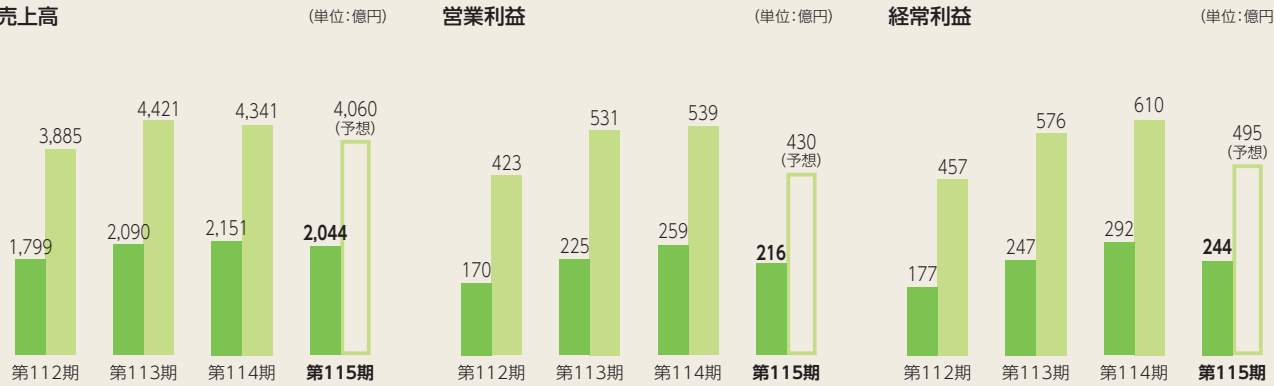
その結果、当第2四半期連結累計期間において、売

上高は2,044億6千7百万円（前年同期比4.9%減）、営
業利益は216億2千5百万円（前年同期比16.8%減）、
経常利益は244億9百万円（前年同期比16.4%減）、親
会社株主に帰属する四半期純利益は156億6千9百万
円（前年同期比18.6%減）となりました。

連結財政状態について

当第2四半期連結会計期間末における総資産は
5,055億9千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ
39億6千8百万円減少しております。要因は、固定資産
が27億6千4百万円増加したものの、流動資産が67億3
千3百万円減少したことによるものです。固定資産の増
加は、有形固定資産が増加したこと及び投資有価証券

連結財務ハイライト



が増加したこと等によるものです。流動資産の減少は、受取手形及び売掛金が減少したこと等によるものです。

負債は952億3千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ53億7千2百万円減少しております。主な要因は、支払手形及び買掛金が減少したこと及び短期借入金が減少したこと等によるものです。

純資産は4,103億6千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億3百万円増加しております。主な要因は、その他の包括利益累計額が69億7千6百万円減少したものの、株主資本が96億7千6百万円増加したこと等によるものです。その他の包括利益累計額の減少は、為替換算調整勘定が減少したこと等によるものです。また、株主資本の増加は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等によるものです。

通期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

	百万円	%
売上高	406,000	△6.5
営業利益	43,000	△20.3
経常利益	49,500	△18.9
親会社株主に帰属する当期純利益	32,600	△19.0
1株当たり当期純利益	円 銭 200.68	—

※%表示は、対前期増減率。
※当業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、為替等のリスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、様々な重要な要素により、これら業績予想とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

連結業績予想と配当の状況について

当社の配当金につきましては、安定した配当の維持及び適正な利益還元を基本としており、連結配当性向20%以上、自己株の取得を含めた総還元性向は、連結で35%以上を目標としております。

当第2四半期末の配当金につきましては、2019年7月29日公表の1株当たり25円とさせていただきます。

なお、期末配当予想につきましては、1株当たり25円とし第2四半期末の配当金と合わせた年間配当金を1株当たり50円とさせて頂く予定であります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

◆みなとみらいテクニカルセンターの開設および秦野製作所隣接地に
◆ライトトンネル棟を建設

横浜みなとみらい地区に「みなとみらいテクニカルセンター(MMTC)」を開設し、当社の秦野製作所の隣接地にライトトンネル棟を建設することを5月13日に発表しました。

自動運転、コネクティッド、電動化など急激な技術革新の中、当社においても車の価値を自ら考え、機能提案するランプシステムメーカーへの変革が急務となっています。

その一環として開発体制を一新した中、MMTCはシステム開発を加速させ新しい価値を創造するとともに各地に分散している設計業務を集約し、得意先の要望を効率的に図面化することを目的とし6月から稼働しています。

また、2020年6月完成予定のライトトンネル棟では、実車による開発環境と検証環境を実現します。車での使われ方を考慮したランプシステムの開発から実車での検証実験までを行い『エンドユーザーが安心して使えるランプシステム』を提供することを目指し、全長220mと世界最長クラスの屋内試験施設となります。

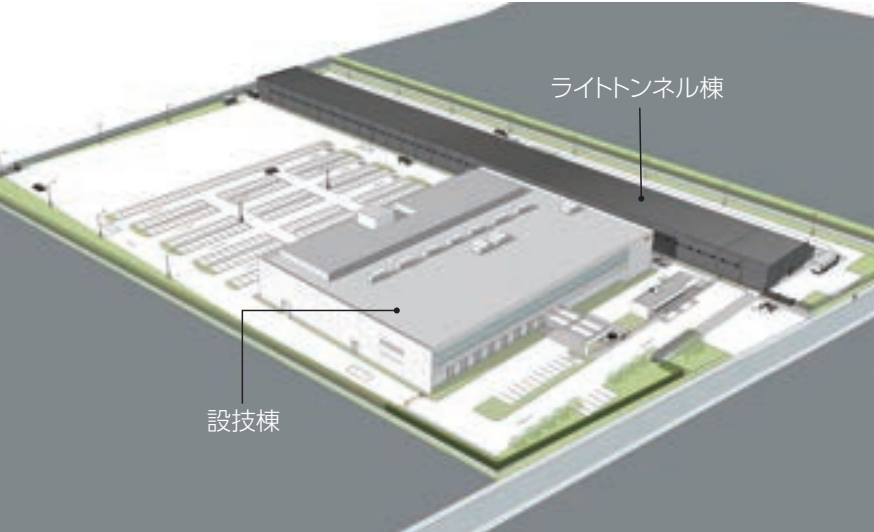
今後も技術革新が進む自動車業界に対し、ランプシステムメーカーとして高い信頼性と高品質なシステム製品の提案を行ってまいります。



MMTC開所式の様子



秦野製作所隣接地での地鎮祭の様子



ライトトンネル棟・設技棟 完成予想図



完成予想図

(株)スタンレー鶴岡製作所
地鎮祭の様子

◆(株)スタンレー鶴岡製作所 新工場建設

LED製品などを製造する連結子会社である(株)スタンレー鶴岡製作所は生産体制の再構築を目的として、隣接地に新工場を建設することを決定し、8月23日に地鎮祭を行いました。

近年、二輪・四輪車ヘッドランプのLED化が急激に伸長しており、車載エクステリア用LEDは需要の拡大が見込まれています。加えて、当社が開発中の深紫外、近紫外、およびハイパワー赤外LED等の生産拡大も必要ことから、当社の電子事業を支える最先端工場として建設いたします。車載、環境、セキュリティ等、今後ますますの拡大が期待されるLEDの市場に対して、スタンレーグループの生産拠点として、高水準・高品質・低コスト製品を提供し、得意先満足度のさらなる向上に努めてまいります。

◆「ジャポニスム2018特別ライトアップ エッフェル塔 日本の光を纏う」 ◆2019年IES Award of Excellence(優秀賞)受賞

8月8日、アメリカ・ケンタッキー州で開催された世界規模の照明学会IES (Illuminating Engineering Society) 年次大会で、世界的照明デザイナーで今年の文化功労者に選ばれた石井幹子氏と石井リーサ明理氏がプロデュースされ、当社の投光器が採用された「エッフェル塔・日本の光を纏う」がAward of Excellence (優秀賞)を受賞しました。

IESは、照明分野を広く網羅したメンバーによって、世界中からの個人会員約9,000人、団体約700の会員で構成されている権威のある組織で、同賞は照明分野に顕著にデザインの貢献を果たした照明デザインと認められる作品に対して贈られます。

企画・プロデュース／石井幹子&石井リーサ明理

エッフェル塔を金色に染めた当社LED投光器
開発協力／株式会社石井幹子デザイン事務所

受賞作品「エッフェル塔・日本の光を纏う」

◆第31回スタンレーレディスゴルフトーナメントを開催

10月11～13日に静岡県・東名カントリークラブでスタンレーレディスゴルフトーナメントを開催しました。台風19号のため27ホールの短縮競技となった大会の最終日は、1988年のツアー制施行後、女子プロゴルフとしては初の無観客試合として9ホールが行われ、首位から出た黄アルムプロが通算8アンダーで逃げ切り、今季初優勝を挙げました。

また、大会スローガンである「挑戦－Challenging the Best」に基づき、トーナメントおよびプロアマ大会を通して全選手の活躍(ポイント制)に応じた金額を、子どもたちの教育支援活動に寄付しており、9月には、昨年の寄付金(1千万円)によって、ケニア・マチャコス地区・キバニ小学校の教室やトイレを建て替え、新たに貯水タンクを設置しました。今後も世界の子どもたちの未来のサポートを継続してまいります。



優勝した黄アルムプロ



ツアー制施行後初となった無観客試合



新築された校舎の外観



新設された貯水タンク

WEBサイトをリニューアル

スタンレーのWEBサイトをリニューアルしました。ぜひご覧ください！

リニューアルの ポイント

- 当社の最新技術が分かる「テクノロジー」コーナーを新設
- 「サステナビリティ」は、SDGs、ESGで分かりやすく紹介
- 製品カタログサイト「コンポーネンツ」は用途や機能から、「LED照明」は導入事例から新たに製品検索が可能

▶ トップページ
<http://www.stanley.co.jp/>



自動車機器事業

売上高 1,631億3千3百万円

売上高の推移 (単位:億円)

1,725

1,631

第114期

第115期

第2四半期連結累計期間

第2四半期連結累計期間

主な事業内容

● ヘッドランプ(LED・HID・ハロゲン)

● リアコンビネーションランプ

● ターンシグナルランプ

● フォグランプ

● 自動車用バルブ(LED・電球)

他

LEDヘッドランプ

LEDリアコンビネーションランプ

世界の自動車生産台数は、日本は増加しましたが、米州で横ばい、欧州、アジア、中国で減少となり、全体として減少となりました。二輪車生産台数では、米州、中国で増加、欧州で微増となったものの、日本、アジアで減少となり、全体として減少となりました。

このような市場環境のもと、当社グループの自動車機器事業は、日本、及び中国における一部車種の新車効果一巡や減産などの影響による自動車用ランプの減少、主に中国元の為替の影響、及び過去の品質問題に関わる費用を計上したことにより、減収減益となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における自動車機器事業の売上高は1,631億3千3百万円(前年同期比5.5%減)、営業利益は108億1百万円(前年同期比29.3%減)となりました。

コンポーネンツ事業

売上高 222億円

売上高の推移 (単位:億円)

235

222

第114期

第115期

第2四半期連結累計期間

第2四半期連結累計期間

主な事業内容

● LED(紫外・可視光・赤外)

● 光センサー

● 液晶表示デバイス

● UV-CCL(紫外線冷陰極管)

● 超小形電球

他

車載用LED(ヘッドランプ)

スマートメーター用LCD

当セグメント(主な製品:LED、液晶等)が関連する、LED照明市場は増加となったものの、情報通信市場、AV市場は微減、車載市場、遊技市場は減少となりました。

このような市場環境のもと、当社グループのコンポーネンツ事業は、世界の自動車生産台数が減少した影響で、車載インテリア用LED、及び自動車電球が減少したことにより、減収減益となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間におけるコンポーネンツ事業の売上高は222億円(前年同期比5.6%減)、営業利益は33億7千万円(前年同期比9.5%減)となりました。

電子応用製品事業

売上高 496億3千7百万円

売上高の推移 (単位:億円)

500

496

第114期

第115期

第2四半期連結累計期間

第2四半期連結累計期間

主な事業内容

● LED照明(景観・道路等)

● 操作パネル

● 液晶用バックライトユニット

● カメラ用ストロボ

● 車載用センサー

他

複合機パネル

写真提供:コニカミノルタ株式会社様

液晶用バックライト

当セグメント(主な製品:LED照明、液晶用バックライト、ストロボ、操作パネル、社内向け電子基板等)が関連する、LED照明市場は増加したものの、OA市場は微減、車載インテリア市場、及びAV市場のうちカメラ市場は減少となりました。

このような市場環境のもと、当社グループの電子応用製品事業は、液晶用バックライトが増加しましたが、LED灯体の制御等に用いる電子基板やストロボ製品の減少、並びに中国元の為替の影響により、減収増益となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における電子応用製品事業の売上高は496億3千7百万円(前年同期比0.8%減)、営業利益は61億2千万円(前年同期比3.7%増)となりました。

その他

売上高 14億7千7百万円

主な事業内容

● 身体障害者雇用促進事業

● グループに対する金融・経営サービス

他

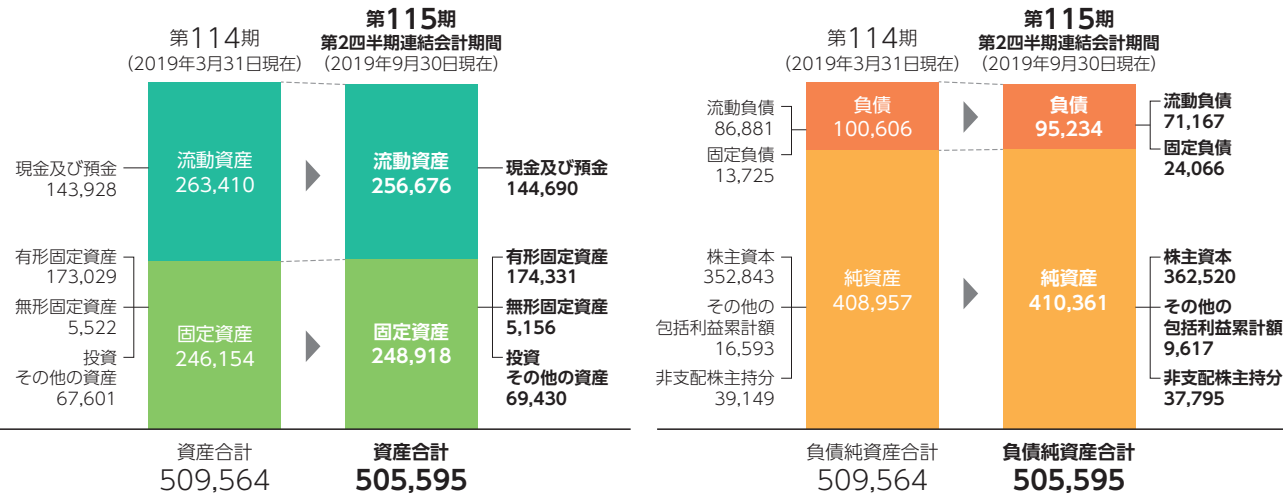
当第2四半期連結累計期間におけるその他の売上高は14億7千7百万円、営業利益は4千8百万円となりました。

9 スタンレー電気株式会社 ● 第115期 中間レポート

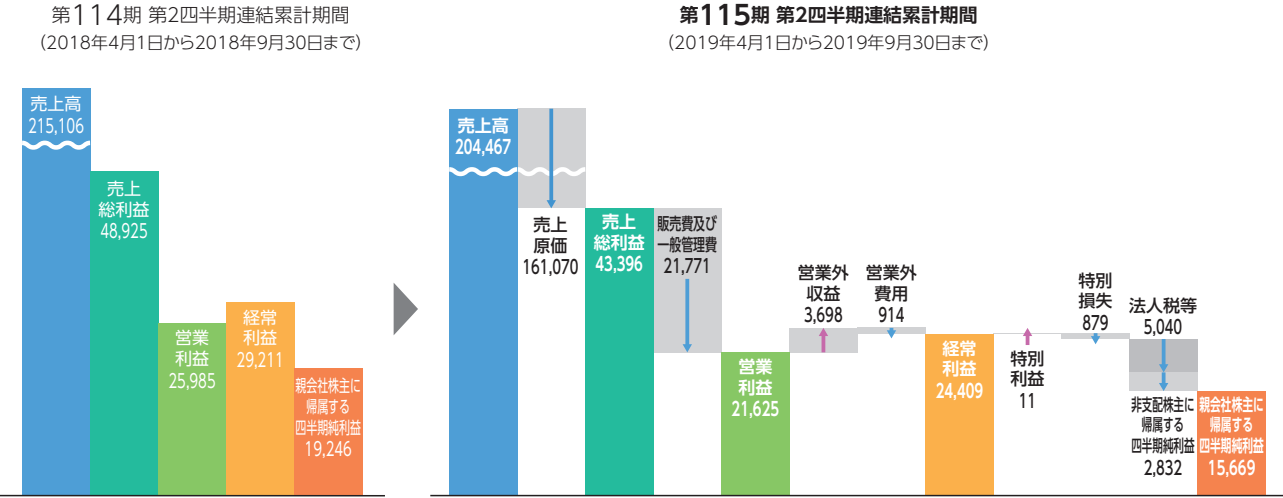
スタンレー電気株式会社 ● 第115期 中間レポート 10

連結決算概要

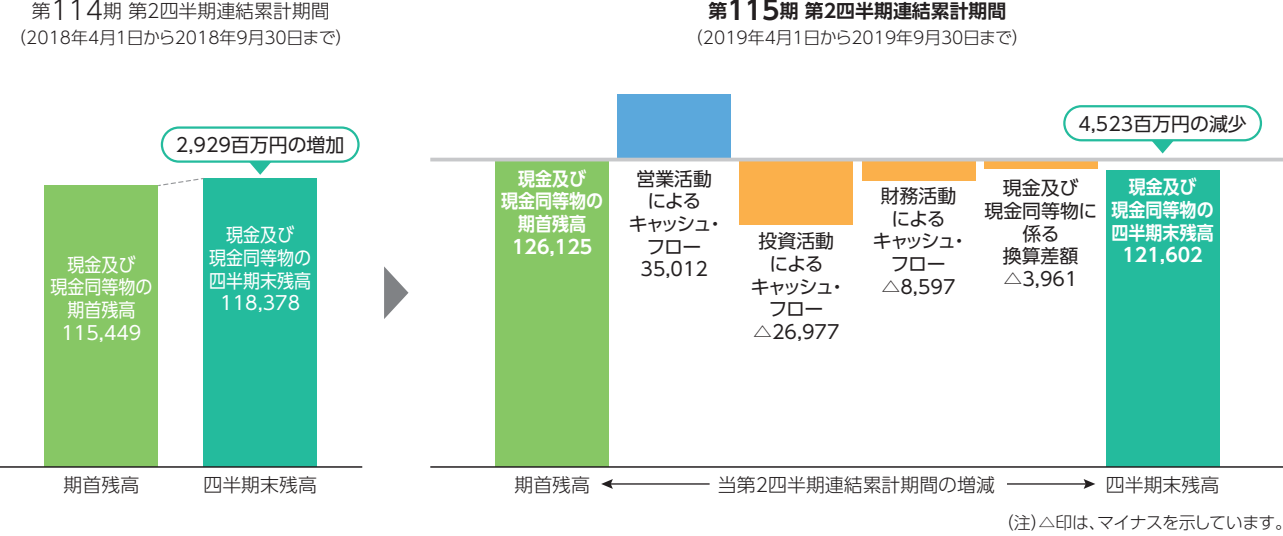
連結貸借対照表の概要 (単位:百万円)



連結損益計算書の概要 (単位:百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位:百万円)



連結の範囲

連結子会社	国内(8社)	株式会社スタンレー鶴岡製作所	他
	海外(28社)	Stanley Electric U. S. Co., Inc. I I Stanley Co., Inc. Stanley Electric Holding of America, Inc. Stanley Electric do Brasil Ltda. Stanley Electric Manufacturing Mexico S.A. de C.V. 天津斯坦雷電気有限公司 天津斯坦雷電気科技有限公司 広州斯坦雷電気有限公司 斯坦雷電気(中国)投資有限公司	
持分法適用会社	海外(3社)	Thai Stanley Electric Public Co., Ltd. Hella-Stanley Holding Pty Ltd Lumax Industries Ltd.	

会社・役員の概要 (2019年9月30日現在)

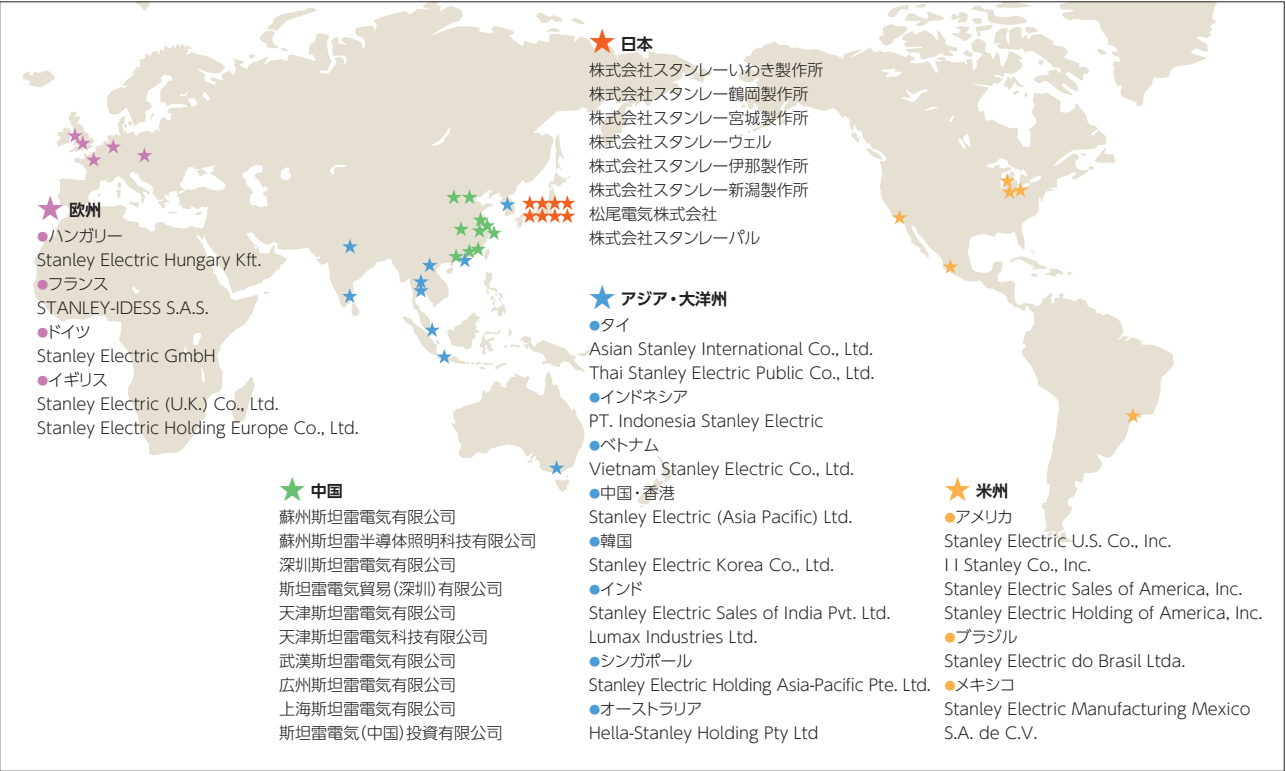
会社の概要

創業	1920年12月29日(大正9年)
設立	1933年 5月 5日(昭和8年)
資本金	30,514百万円
社員数	当社グループ 17,321人 当社 3,788人

事業所

本社	東京都目黒区中目黒2-9-13
研究所	技術研究所(横浜) 宇都宮技術センター 横浜技術センター オプトテクニカルセンター(横浜) みなとみらいテクニカルセンター
支店	大阪／名古屋
営業拠点	大宮／狭山／朝霞／鈴鹿
製作所工場等	秦野／岡崎／浜松／広島／山形

グループ会社



取締役・監査役

代表取締役社長	北野隆典
取締役副社長	平塚豊
常務取締役	田辺徹
取締役	飯野勝利
取締役	高森啓之
取締役	米谷光弘
取締役	貝住泰昭
取締役	上田啓介
社外取締役	森正勝
社外取締役	河野宏和

常勤監査役	山口隆太
常勤監査役	下田浩二
社外監査役	網谷充弘
社外監査役	菅野寛
社外監査役	上平光一

執行役員

松下義嗣	二輪事業部長、アジア・大洋州事業担当
大木聡	四輪第三事業部長
太田智広	ストロボ事業部長
鈴木重夫	AD事業部長
寒河江正浩	照明応用事業部長
遠藤利恵	コーポレートバリューアナリスト
高野一樹	四輪第一事業部長
伊藤善仁	先進安全システム担当
留岡達明	インテグレートドコンポーネンツ事業部長
北野隆章	SNAP担当
角谷克己	購買本部長
三杉光昭	光半導体事業部長
北條哲也	四輪第二事業部長
橋本徹	ディスプレイデバイス事業部長

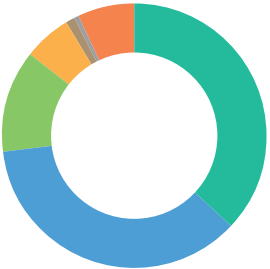
株式等の状況 (2019年9月30日現在)

株式の総数及び株主数

発行可能株式総数	750,000,000株
発行済株式の総数	174,800,000株
総株主数	9,042名

株式の所有者別割合

金融機関	37.41%
外国法人等	36.15%
その他の法人	12.63%
個人・その他	5.73%
金融商品取引業者	1.15%
政府・地方公共団体	0.11%
自己株式	6.82%



大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
JP MORGAN CHASE BANK 385632	11,437	7.02
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	9,488	5.82
本田技研工業株式会社	9,235	5.67
株式会社三井住友銀行	8,111	4.98
日本生命保険相互会社	6,886	4.23
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	6,691	4.11
野村信託銀行株式会社(退職給付信託三菱UFJ銀行口)	5,440	3.34
JPMCB OMNIBUS US PENSION TREATY JASDEC 380052	3,837	2.36
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	2,826	1.74
株式会社三菱UFJ銀行	2,677	1.64

(注1) 当社は、2019年9月30日現在自己株式を11,914千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
(注2) 持株比率は自己株式(11,914千株)を控除して計算しております。

中間配当

2019年10月28日開催の取締役会において、第115期(2019年4月1日から2020年3月31日まで)中間配当金の支払について、下記のとおり決議いたしました。

(記)
当社定款の規定に基づき、2019年9月30日を基準日として、次のとおり第115期中間配当金を支払う。
1. 中間配当金 1株につき金25円
2. 効力発生日及び支払開始日 2019年11月29日(金曜日)

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
	定時株主総会 3月31日
基準日	期末配当 3月31日
	中間配当 9月30日
公告方法	電子公告の方法により行います。ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載する方法により行います。 公告掲載のホームページアドレス http://www.stanley.co.jp/profile/index.html
株主名簿管理人 (特別口座の口座管理機関)	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711(通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
単元株式数	100株

株式に関する手続き

- 株主さまの住所・氏名のご変更、配当金受取方法のご指定、単元未満株式の買取・買増請求その他各種お手続きにつきましては、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
- 特別口座(※)に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店においてもお取次ぎいたします。

お問い合わせ先・郵便物送付先

〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先 0120-232-711
(平日9:00～17:00・通話料無料)

お手持用紙請求 インターネットによるダウンロード
<https://www.tr.mufg.jp/daikou/>

※ 株券電子化前に証券保管振替機構に預託されなかった株式につきましては、三菱UFJ信託銀行に開設いたしました特別口座に記録されております。

- 未受領の配当金のお支払請求につきましては、三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。



スタンレー電気株式会社
STANLEY ELECTRIC CO., LTD.

〒153-8636 東京都目黒区中目黒2-9-13
TEL:03-6866-2222 FAX:03-6866-2678
URL: <http://www.stanley.co.jp/>